

地区名	上対馬町 河内地区
策定日	2012年1月25日

河内の里

地域づくり計画書

花と緑と一笑ken明 ～河内の里～



… 目次 …

I はじめに…	1
1 地域づくり計画とは	1
2 地域づくり計画の利点	1
II 概 要	2
1 位置・風土	2
2 人口と世帯	3
3 自治活動	4
III 現状と課題	5
1 防災・防犯	5
2 道 路	5
3 健康生活・娯楽文化	6
4 環境・衛生	7
5 生活習慣・自治活動	7
IV 地域資源	8
1 人的資源(人財)	8
2 物的資源(名所旧跡、物財等)	8
V 地域の将来像	9
VI 計 画	10
1 防災・防犯	10
2 道 路	10
3 健康生活・娯楽文化	11
4 環境・衛生	11
5 生活習慣・自治活動	12
6 短期計画(1～ 3年)	13
7 長期計画(4～10年)	14
VII 重点取り組み項目	16
VIII 実行・検証	17

■ 資 料	18
資料1	地区の主な活動状況 18
資料2	地域資源一覧 19
資料3	アンケート その1 24
資料4	アンケート その2 28
■ 河内の里マップ	31
マップ1	生活環境整備状況 31
マップ2	地域資源 32
マップ3	危険箇所 33
マップ4	河内の里環境整備プロジェクト 34



1 地域づくり計画とは？

地域住民の協働により、地域で解決できる課題は地域で解決していくことで、地域力の向上と真の連帯感の醸成が図られます。しかし、その場の思いつきだけで行動すると一時的には効果が得られても将来性、発展性は見込めません。

より効率的かつ効果的に地域づくりを推進するためには、点から線へ、線から面への広がりと着実な前進が大切です。地域づくり計画書は、地域住民の夢と希望を乗せて未来へこぎ出すための羅針盤であり、計画的に地域を建設するための設計書でもあります。

2 地域づくり計画の利点

地域づくり計画を策定することで、地区の特色、現状、課題などが明確になります。また、様々なアイデア、想いを計画に沿って一つひとつ具現化することで、将来につながる無駄のない事業を推進することができます。

さらに短期及び中長期的な行動計画を設定することで、市をはじめとして関係機関に対し、まちづくり、地域づくりに関する提案・要望の説明を円滑かつ的確に行うことができます。



地域づくり計画協議風景

Ⅱ 概要

1 位置・風土

河内地区は、対馬市本庁所在地（厳原）から北北東に直線距離で約60km、対馬北西側にある大浦湾の南側に位置します。

河内の名義は「河谷の平地」、「谷間の平らかに水流れ出る所」の地形から名付けられたとされています。（上対馬町誌より）

朝鮮海峡に向けて開口している大浦湾は、古くは大陸・半島との生活航路として利用され、現在はイカ、ブリ、ヒラス等が獲れる豊かな漁場として、区民は恩恵を受けています。また、集落の西側背後には、標高183mの結石山を最高峰とした山々が連なり、冬場の季節風（空っ風）や夏場の強烈な西日から集落を守っています。集落内は、昔はソバ畑、サツマイモ畑などの農地が広がり美しい里山風景が形成されていましたが、近年は、有害鳥獣の被害や後継者不足による耕作放棄地が増加し、荒れ地が目立つ状態となっています。



生活面では、昭和30年ごろまでは、漁業、農林業などの一次産業を生業とし、地域資源を有効に活用していました。また、区民の連携も強く、地域力があり、豊かな集落が形成されていました。

高度経済成長期を迎えると進学・就職のため、多くの若い人材が島外へ流失し始め、その流れは今日も止まっていません。また、地元で定着した人々も安定した職業を求めて、公務員、会社員など三次産業に就く割合が高くなりました。

これらの要因が重なり、本地区も全国の地方が頭を抱える少子高齢化、過疎化を招き、地域の疲弊と地域力の低下が懸念されるどころです。

一方、活気を失いつつある地区を再生しようと、文化展、さつき展などのイベントを企画する地域リーダーの存在や物事を実現するために一致団結して行動する区民の絆は、今も受け継がれています。

結石山と河内集落



2 人口と世帯

明治20年の人口は161人（32世帯）、昭和8年216人（39世帯）、平成23年106人（38世帯）と、世帯数は横ばいながらも、人口は昭和8年ごろをピークに減少傾向にあり、世帯数に変化が見られないことから、核家族化が進行していることが伺えます。過去5年間の数値からは、徐々に人口が減少している中、60歳以上の年齢層は増加傾向です。少子高齢化、過疎化の進行が顕著に表れています。

■ 人口&世帯数の推移

(単位:世帯・人)

年度 区別	M20	S8	S15	S55	H23
世帯数	32	39	29	29	38
人口	161	216	177	129	106

※ 参考文献…上対馬町誌

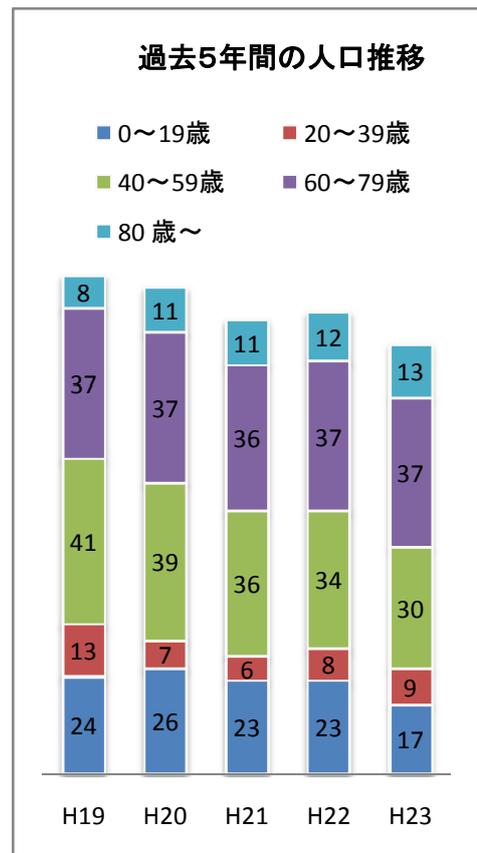
■ 過去5年間の推移

(単位:世帯)

年度 区別	H19	H20	H21	H22	H23
世帯数	37	38	36	38	38

(単位:人)

年度 区別	H19	H20	H21	H22	H23
0～19歳	24	26	23	23	17
20～39歳	13	7	6	8	9
40～59歳	41	39	36	34	30
60～79歳	37	37	36	37	37
80歳以上	8	11	11	12	13
計	123	120	112	114	106



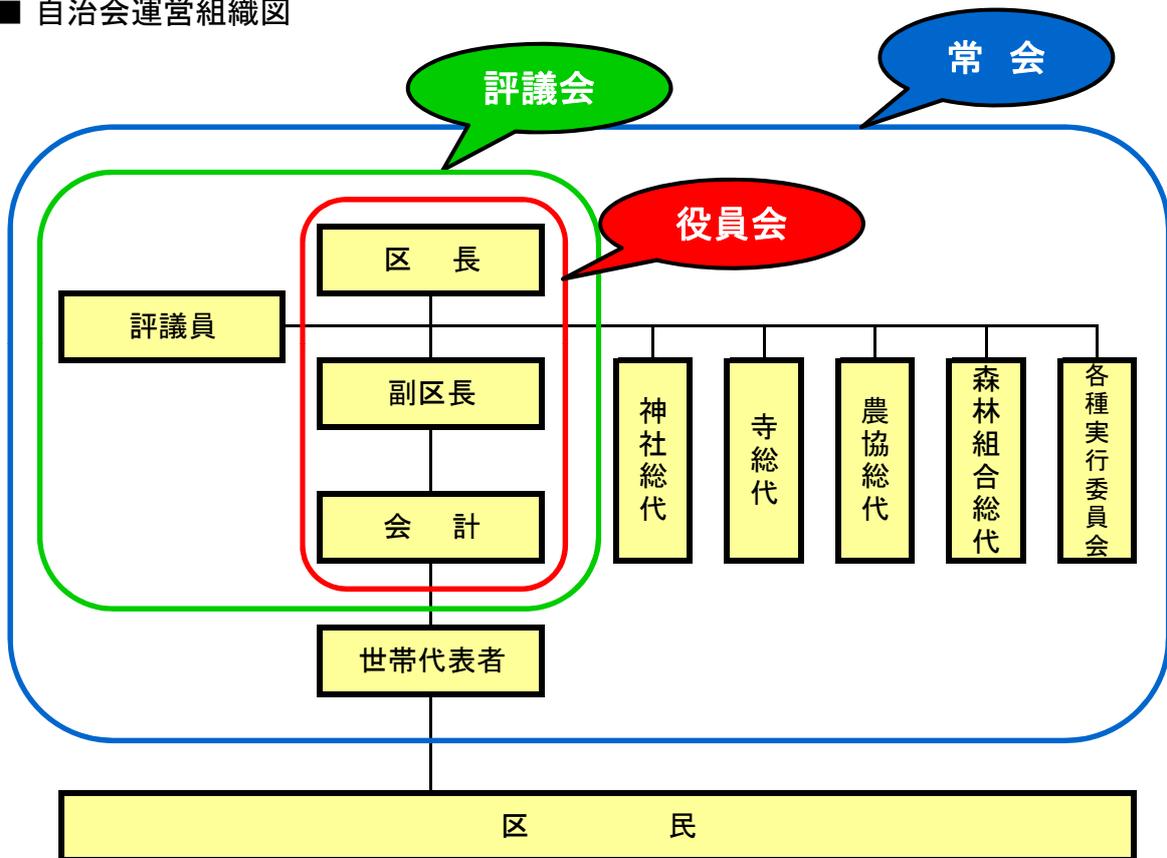
河内の浜

3 自治活動

毎月25日に各世帯の代表者で構成する常会（定例会）を開催し、税金・公共料金の徴収、行政からの連絡事項、地区内の課題や展望に対する協議・決定等、日頃から積極的に自治活動に取り組んでいます。常会の他にも必要に応じて、役員会、評議会等を開催しています。

また、特別なイベントを行う際などは、実行委員会を立ち上げ、地区役員と実行委員の連携により、円滑かつ充実した運営に努めています。

■ 自治会運営組織図



1 防災・防犯

(1) 防 災

防火面では、防火水槽3基、消火栓17基及び消防第一分団の拠点施設を有するなど、防火や初期消火に対する環境は整っていますが、近年、海岸から遠い地区郊外に店舗、倉庫等が建設されるなど、火災発生時に水利が確保できない区域も増えつつあります。

風水害などの自然災害については、大潮の満潮時と大雨が重なると川沿い、湾岸沿いにある住宅等は、床下・床上浸水の恐れがあります。また、山裾にある住宅群は大雨、長雨によるがけ崩れや落石の危険性にさらされています。

災害時の避難場所として、地区集会施設が指定されています。台風、大雨等には十分対応できますが、海辺に近い低地に位置するため、地震等による津波の場合は、避難施設としての機能を果たしません。



(2) 防 犯

地区内には防犯灯25基が設置され、暗い夜道を明るく照らしています。また、隣り近所の交流が深く、見守りや助け合いなどは日頃から実施されています。一方、地区内では、これまで大きな犯罪等が発生していないこともあり、区民の防犯に対する意識・関心は必ずしも高いとは言えません。



2 道 路

国道382号線が地区の中央を縦貫していることから、自動車を運転するドライバーからは良好な道路事情となりますが、自転車で走行する児童・生徒、歩行者の目線からは、交通量が多く、スピードも出ているため、車両との接触等に恐怖を感じることがあります。そのうえ、集落内には、歩道がなく、危険度が高い状況です。

また、地区内の国道と市道の交差点、市道間の交差点は雑草が生い茂っていたり、カーブミラー未設置等で、見通しが悪い箇所が多く見受けられます。

3 健康生活・娯楽文化

(1) 健康生活

昭和40年頃までは、自然の食材（地元の農産物、海産物）を中心とした自給自足のライフスタイルが主流でしたが、時代の流れと共に、食事スタイルも欧米化が浸透し、体調管理等に少なからず影響を与えています。健康の保持増進のための食事管理や生活改善に関する勉強会等は実施していません。

体力づくりのため、自主的、個人的にウォーキング、ジョギング等を行っている区民もいますが、地区としては年1回グラウンドゴルフ大会を実施する程度のスポーツ活動で、体力測定、スポーツ教室等は実施していません。また、気軽にスポーツや催し物ができる広場として「河内グラウンド」を有していますが、近年は整備が行き届いていないため、ほとんど使用できない状態です。（一部、ゲートボール場は整備されています。）

地区郊外にパチンコ店、カラオケ店などがあり、地区の中央を国道が縦貫していますが、住宅地からやや離れていることもあり、休養や睡眠を妨げる騒音、振動、悪臭などはありません。

(2) 娯楽文化

5月にさつき・盆栽展、10月にグラウンドゴルフ大会、11月に文化展など、区民みんなで楽しめる行事を区民の賛同を得て計画的に開催しています。また、神事として岩楯神社の禮祭が3月と11月の年2回行われます。新たな文化の創造として、月1回の常会等の場において、様々な提案、検討がされますが、地区の団結力は強くて高齡化や若年層の不足により、機動力、行動力が低下し、実現することが困難な状況になりつつあります。

地区内には区民が最も誇りに感じている結石山を筆頭に、経ノ隈遺跡、桐木井戸など多くの自慢できる名所旧跡があります。人材（財）に関しては、知識・知恵を提供していただける方は、多くいますが、若年層が不足しているため、行動するための人材が不足しています。

名所旧跡、物財などの管理・清掃については、市からの委託事業を活用（結石山森林公園）したり、誕生月の区民が当該月に自主的（岩楯神社）に実施しています。しかし、未活用の名所旧跡、物財等については、管理が行き届いていない状態です。



↑ さつき展の風景



↑ 文化展の風景

4 環境・衛生

6月に市内一斉に実施するクリーンアップ作戦において、道路、側溝、公園等の清掃を行っています。グラウンドの草刈りはクリーンアップ作戦と秋口の年2回行っています。生活排水については、合併処理浄化槽があまり普及していないこともあり、台所、風呂、洗面所の排水を河川に直接流している家庭が多い状況です。

また、ゴミについては、国道沿いの空き缶の投げ捨て、磯場の国内外からの漂着ゴミが悩みの種となっています。

5 生活習慣・自治活動

(1) 生活習慣

共同給水施設としては、簡易水道が整備されています。また、水源地を有する地区であり、年間を通して安定した水量が確保されています。

通勤、通学等には、自家用車での移動が主流ですが、乗合バスも利用できる環境にあります。

地区から概ね800mの位置にスーパーマーケット、薬局、書店等があり、日常生活の利便性は確保されています。医療に関しては、自動車で10分圏内に上対馬病院、佐須奈診療所があります。

冠婚葬祭については、葬儀は昔から区民葬で行われています。祝儀、見舞金などの取り決めが以前はあったようですが、現在はなく合理化は図られていません。

(2) 自治活動

昭和の頃は、区内の組織として、婦人会、青年団、老人クラブ、育成会など多数の団体が幅広く活躍していましたが、平成に入ってから、青年層の減少等により存続する団体は、老人クラブ、育成会のみとなり、構成人数も減少しています。

生産や生活に関する集団、組織としては、地元漁業者で構成する漁組（ぎょくみ）が存在しますが、他に組織はありません。地区集会施設を活用した「道の駅」を開設し、地元で採れる農産物、海産物等を販売する組織を立ち上げることができないか模索しているところです。また、趣味の会としては、女性を中心としたパッチワーク愛好者の会があります。

区民への連絡事項は、回覧板、区内放送等を活用し、速やかに伝えられています。

自治会については、毎月25日に開催している常会において、行政や各種団体からの連絡事項を伝えたり、地区内の課題等を協議しています。地区活動は、多くの区民の賛同を得たものについて実施しており、円滑に運営されています。地区役員は、各世帯の代表者による選挙で民主的に選ばれています。年間予算は編成されていませんが、前年度決算を踏まえ、計画的に運営されています。突発的な事象に対しては、役員会、臨時常会等において審議し、決定しています。

IV 地域資源

1 人的資源（人財）

地区の歴史・伝統、日常生活などについて、豊かな知識・知恵を提供していただけるお年寄り。機動力、発想力などを駆使して、地域づくりの核となる青壮年層。そして、将来の地区を担っていく子どもたちなど、地区の健全な発展に最も欠かすことのできない資源は、人材（人財）であり、区民が一致団結して、地域づくりに取り組みます。



2 物的資源（名所旧跡、物財等）

地区内には、結石山、経ノ隈遺跡など歴史的価値の高い資源をはじめ、逆様川、千人耳塚などの伝説を秘めたもの、潮干狩りができる浜中、どこからでも魚釣りができる海岸線など自然の恩恵を受けるものなど、豊富な物的資源を有していますが、時代と共に忘れ去られたもの、未整備のため使用できないものなど、未利用・未活用の資源も多い状況です。

活用している資源	未活用資源	
	すぐに活用できる資源	整備が必要な資源
04 岩橋神社	01 真珠養殖(風景)	02 捕鯨基地跡
06 河内橋&浜中(潮干狩り)	03 経ノ隈古墳	05 ツシマヤマネコ生息地(フリヤマネコ)
07 河内グラウンド(ゲートボール場)	11 大タヱの木	07 河内グラウンド(野球場)
08 河内地区集会施設	13 対馬八十八箇所(三十九番札所)	09 内方山
18 結石山(森林公園&林道)	14 街中(花の路)	10 千人耳塚
	16 逆様川	12 桐木井戸
	17 「絶海を渡る」記念碑&韓国展望	15 元神様(共有地)
		19 小塩屋

※番号(01~19)は、資料2(19ページ)及びマップ2(32ページ)と一致

花と緑と一笑ken明 ～河内の里～

「区民全員アンケート」の設問に河内の未来のイメージについての項目があり、その回答の一つに「一笑賢明（区民一つになり、笑いあり、賢く明るい地区）」という四字熟語（造語）がありました。他にも多くの素晴らしい回答がありましたが、この熟語に全てが網羅されていること、さらに「賢」の文字を「ken」と置き換えることで、国境の島のグローバル感と賢明、健康、研鑽など、言葉の意味に幅が生まれ、区民みんなの想いを込めることができます。

加えて、地区全体による植樹活動や各家庭でのガーデニングなど、みんなが花と自然を愛することで、街中に花と緑の動線、「ガーデンストリート」が形成されつつあります。これらの言葉を組み合わせたキャッチコピー「花と緑と一笑ken明 ～河内の里～」を将来像として、地域づくりを推進します。

一	一致団結	
笑	笑顔いっぱい	
ken	健康・賢明・研鑽・謙虚など	
明	明るく！楽しく！	

VI 計 画

地域の将来像を実現するため、短期に取り組めることから中長期的なビジョンまで、実行すべき内容を具現化することにより、点から線、線から面へ、そして夢の実現に着実な歩みを進めます。

1 防災・防犯

(1) 防 災

集落郊外にあるパチンコ店、カラオケ店、建設会社の倉庫などは、既存の防火水槽から距離が遠いため干潮時には水利が確保できないため、防火水槽の設置を市へ要望します。

震災等により発生する恐れがある津波からの被害を防止するため、高台、裏山等への避難経路を確保します。

日中は、仕事などにより、消防団員が手薄になるため、高齢者や女性が消火栓を安全・確実に使用できるよう、地元消防団等に依頼し、消火栓の使い方講習を実施するなど、防火意識の向上と初期消火の徹底に努めます。

(2) 防 犯

高齢化、過疎化が進む中、防犯に関しては、区民間の連携を密にして、自分たちの地区は自分たちで守るという高い意識と犯罪を未然に防ぐための正しい知識が必要となります。

防犯講習、地区内の啓発活動等に積極的に取り組み、明るく住みよい地区を目指します。

2 道 路

国道と市道を結ぶ交差点は、ほとんどの箇所で見通しが悪く、事故の危険性が高いため、定期的に草刈りを実施するとともに、交差点へのカーブミラーの設置を県・市へ要望します。

また、国道に歩道が設置されていない区間があり、子どもや高齢者に限らず、国道を歩行する全ての人が自動車が横を通過するたびに恐怖さえ感じる交通環境であるため、歩道の設置を県・市へ要望します。



見通しが悪い交差点① ←



見通しが悪い交差点② ←

3 健康生活・娯楽文化

(1) 健康生活

これまで健康づくりは、個々の自主的な取り組みが主で、地区としては年1回のグラウンドゴルフ大会の開催のみでした。

健康づくり講習、救急救命講習、食生活改善講習など、これまであまり取り組んでこなかったことにチャレンジしていきます。

また、結石山林道、街中の通りなどを有効に活用したウォーキングコースを開発し、ウォーキングイベント等を実施します。

(2) 娯楽文化

さつき・盆栽展と河内の里文化展の充実・継続を柱として、心豊かで質の高い文化的な生活の維持・向上を図るため、パソコン教室、木工・竹細工教室等の開催や集会施設に図書コーナーの設置、河内の伝承・昔話の掘り起こしなどに取り組みます。

また、埋もれている歴史的資源（経ノ隈遺跡、捕鯨基地跡地など）や未整備のグラウンド、共有地（自然公園）などを区民自らの力で再生することで、子どもから大人まで、みんなが愛着を持って暮らせる魅力ある地域づくりを推進します。

4 環境・衛生

豊かで美しい海・河川を保持するため、定期的にEM活用講習を開催し、区民全体で生活排水の浄化に努めます。

アサリ、シジミなどの二枚貝が生息する貴重な河内浜の環境保全と生物資源の保護・活用を図るため、専門家を招いての干潟の調査・研究や地域の子どもたちによる稚貝の放流事業などに取り組みます。

春の市民一斉クリーンアップ作戦に加え、地区単独での秋のクリーンアップ作戦を実施します。また、区民ウォーキング大会などに併せて国市道沿いの空き缶、ゴミ拾いを行います。

海洋漂着ゴミの撤去については、量、面積などから地区独自の取り組みでは解決できないため、校区単位での連携、あるいは市全体の活動に協力できる体制を構築します。



河内橋と内方山

5 生活習慣・自治活動

(1) 生活習慣

冠婚葬祭、清掃活動、生活マナーなどに関する暮らしのルールブックを区民みんなで協力して作成することで、安心・安全で豊かに暮らせる「河内の里」を目指します。

高齢者宅への定期訪問、電話確認などの見守り活動、作業の手伝いなど、高齢者のサポート体制を確立します。

(2) 自治活動

これまで通り、毎月1回の常会を自治活動の核として継続し、地域課題の解決、健全な自治会運営を推進します。また、市の施策・事業等の説明、市への提案、要望などを円滑に行うため、地域マネージャー制度についても引き続き活用します。

また、地元でとれる農林水産物や手づくりの工芸品などを販売する組織を立ち上げ、国道に面し、駐車スペースも十分確保できる利便性が高い地区集会施設を拠点とした「道の駅」を開設し、地区の活性化と地域の交流人口の拡大を図ります。

若者が地元で永住できるような地域環境を整備するため、新たな産業の創出や地区特産品の研究・開発などに取り組み、雇用機会の確保に努めます。また、地元の子どもたちと一緒に地区の魅力を見出す活動を実施します。



岩楯神社禮祭



EM活性液づくり



有害獣対策モデル事業



消火栓使い方講習



防鹿ネット設置作業



自然体験学習

6 短期計画（1～3年）

区民協働により少額の経費で解決できる課題や生活環境・生命等に直接・間接的影響を与える緊急性の高い課題については、短期間での解決を目指します。

区分	項目	内容	地区の行動	事業区分	
1	防災・防犯	1 防災 地区内、防火体制の確立	・消火栓使用講習を実施 ・火災シーズンの見回り等	実行	地区・関係機関
		2 防災 津波等に対する避難場所の確保	・避難場所、経路の確保 ・表示板の設置等	実行	地区・関係機関
		3 防災 自然災害に関する調査・研究	・地区ハザードマップの作成 ・表示板の設置等	実行	地区単独
		4 防犯 防犯意識の向上と防犯活動の推進	・防犯講習会の実施 ・地区内の見回り活動等	実行	地区・関係機関
2	道路	5 道路 地区内交差点の整備	・カーブミラーの設置	市へ要望	県・市
			・交差点付近の除草作業	実行	地区単独
		6 道路 交通安全意識と交通マナーの向上	・交通安全講習を実施 ・道路の危険箇所点検等	実行	地区・関係機関
3	健康文化	7 健康生活 健康・体力づくりの推進	・体力測定の実施 ・スポーツ教室の実施等	実行	地区単独
		8 娯楽文化 さつき・盆栽展の充実	・展示内容の充実 ・フリーマーケットの実施 ・広報、宣伝活動など	実行	地区・近隣地区
		9 娯楽文化 河内の里文化展の充実	・展示内容の充実 ・フリーマーケットの実施 ・広報、宣伝活動など	実行	地区単独
		10 娯楽文化 各種教室の開催	・パソコン教室の実施 ・木工、竹細工教室の実施等	実行	地区・市
		11 娯楽文化 名所、旧跡等の有効活用	・名所、旧跡の管理、清掃 ・案内板の設置等	実行	地区・市
		12 娯楽文化 街中ガーデンストリートの整備	・共有地への植樹活動 ・家庭の庭への植栽活動	実行	地区単独
		13 娯楽文化 地区集会施設の充実	・図書コーナーの設置 ・健康づくり器具の設置等	実行	地区単独

区分	項目	内容	地区の行動	事業区分	
4	環境	有害鳥獣被害防止対策	・捕獲モデル事業への参画 ・ワイヤーメッシュ柵の設置	市へ要望	地区・市
			・農地周辺の除草作業	実行	地区単独
	環境	定例的な清掃活動	・国道、市道の空き缶拾い ・地区内の除草作業等	実行	地区単独
	環境	EM活用による環境改善	・EM講習会の実施 ・EMによる家庭排水の浄化	実行	地区・近隣地区
	衛生	ゴミ収集所の新設	・サイノ山方面に1基	市へ要望	地区・市
5	生活習慣	暮らしの中のルールづくり	・暮らしのマナーの文章化	実行	地区単独
		高齢者サポート体制の確立	・日頃からの声掛け ・高齢者宅への定期訪問	実行	地区単独
	自治活動	市・関係機関との連携強化	・地域マネージャー制度の活用	実行	地区・市
	自治活動	地区広報紙の発行	・「河内の里通信」の発行	実行	地区単独

7 中長期計画（4～10年）

短期間では解決が困難な課題、また、多額な経費を要する課題については、他地区との連携、市及び関係機関への要望・提案活動などに取り組み、中長期的視野に立って解決を目指します。

区分	項目	内容	地区の行動	事業区分	
1	防災	防火水槽の設置	・パチンコ店付近1基 ・集会施設付近1基	市へ要望	市
		災害危険箇所の補修	・村岡自動車整備工場裏の石垣補修 ・サイノヤマ川支川奥側の浚渫工事 ・サイノヤマ川支川の河口付近の補修	市へ要望	市
	防犯	防犯灯の設置	・地区内調査の実施 ・防犯灯を必要箇所へ設置	実行	地区単独

区分	項目	内容	地区の行動	事業区分	
2	道路	4 道路 地区内市道の補修	・旧県道舗装部分の補修 ・道路の段差解消等	市へ要望	市
		5 道路 国道の歩道整備	・歩道未設置区間に歩道設置	市へ要望	県・市
		6 道路 北部航路の整備	・博多～対馬北部地域を起終点とする高速艇の復活	市へ要望	県・市
3	健康 生活 文化 生活	7 健康 生活 河内の里ウォーク&トレックコースの開発	・ウォークキング&トレッキングコースの開発 ・物的資源(名所旧跡、物財等)の整備	実行	市・地区
		8 健康 生活 河内グラウンドの整備	・グラウンドの整地、除草	実行	地区単独
			・遊具等の設置	市へ要望	市・地区
		9 健康 生活 生活環境の調査・研究	・騒音、振動、悪臭等の実態調査等	実行	地区・ 関係機関
10 文化 娯楽 伝統・文化の掘り起こし、保存	・人材育成 ・文化、伝統の勉強会の実施 ・地区の伝統、伝説の文章化(データ化)等	実行	地区単独		
4	環境 ・ 衛生	11 環境 有害鳥獣の駆除	・イノシシ、シカの捕獲、駆除	市へ要望	市・地区
		12 環境 元神様公園(仮称)の整備	・サクラ、ヤマボウシの植樹 ・休憩用ベンチの設置等	実行	地区単独
		13 環境 漂着ゴミ対策	・漂着ゴミ対策への協力体制の確立	実行	地区・市
		14 環境 河内浜中の環境保全	・アサリ貝等の幼稚貝放流 ・浜中の環境調査等	実行	地区・市
5	自治 生活 活動 習慣	15 自治 活動 地区集会施設の有効活用	・「道の駅」の開設 ・地元農林水産物の販売 ・地元生産者の組織化	実行	地区・市
		16 自治 活動 若年層の定住促進	・新たな産業の創出 ・特産品の研究・開発 ・雇用機会の確保 ・地区の魅力再発見活動	実行	地区・市

1 有害鳥獣の被害防止対策

イノシシ、シカによる食害は農林産物に止まらず、自然植物、庭木にまで及び、その被害は甚大です。また農林産物を被害から防護するためのネットが地区内に張り巡らされ、景観も悪くなっています。最近では、イノシシが国道、市道をはじめ、民家付近にまで頻繁に出没し、遂には人に危害を加えた事例も発生しています。

河内地区では、イノシシ被害対策を最重要課題と位置付け、自主的な取り組みとしては、イノシシの棲みか、隠れ場所を排除するための除草作業、農地への区画単位での計画的な防護柵の設置などに取り組み、イノシシからの被害防止と併せて景観の保持に努めます。また、県・市などが実施する捕獲モデル事業等へも積極的に参画し、安全・安心に暮らせる「河内の里」づくりを目指します。

2 「河内の里」環境づくりプロジェクト

地区集会施設を拠点施設とした「道の駅」の開設、結石山森林公園までのウォーク&トレックコースの開発、ガーデンストリートの拡大・充実等を図り、日頃からの健康づくり、週末の散策、旅行者の休憩場所として活用し、明るく、楽しく、活気ある「河内の里」づくりを目指します。

3 各種講習会、勉強会の充実

毎月(25日)開催される常会等の機会を利用し、市及び関係機関を介して、様々な専門知識を有する方々を講師として招き、パソコン教室、EM活用講習、木工・竹細工教室、地域づくりの勉強会などを実施し、文化的で心豊かに暮らせる「河内の里」づくりを目指します。

VIII 実行・検証

1 実行

計画の実行は、区民協働を基本とし、区民が一丸となり課題の解決や地区の活性化を推進しますが、事業の内容によっては、少人数で行動することが、より効率的で合理的な場合などは、実行委員会、役員会等で実行します。また、身近な課題、小さな課題などについては、個人、グループで自主的に取り組みます。逆に区民の力だけでは解決できない大きな課題や多額の経費を要するものについては、周辺地区との連携、校区単位の取り組み、県・市への要望・提案を行っていきます。

なお、計画の実行にあたっては、ご高齢者、子どもたちなど、身体的弱者に負担とならないよう、十分配慮します。

1	2	3	4	5(基本)	6	7	8
個人・ 有志グループ	役員会・ 地域マネージャー	実行委員会・ 関係団体	世帯の代表者	区民協働	周辺地区連携	校区単位	県・市
← 少額な財源・小さな労力で解決できること				多額の財源・大きな労力が必要なこと →			

2 検証

本計画が円滑・着実に進むよう、年度末の役員会、常会で進捗状況を検証して、次年度からの行動計画に反映します。



■ 地区の主な活動状況

資料 1

区分	活 動 内 容		
月	平成21年度	平成22年度	平成23年度
4月	・ 常会	・ 常会	・ 常会
5月	・ 常会 ・ さつき・盆栽展 ・ 岩楯神社拝殿建前	・ 常会	・ 常会 ・ さつき・盆栽展
6月	・ 常会 ・ クリーン作戦	・ 常会 ・ クリーン作戦 ・ さつき・盆栽展	・ 常会 ・ クリーン作戦
7月	・ 常会 ・ 岩楯神社拝殿落成式	・ 常会	・ 常会 ・ 岩楯神社通殿完成 ・ 河内の里通信(1号)発行
8月	・ 常会	・ 常会	・ 常会 ・ 臨時常会(第1回)
9月	・ 常会 ・ 敬老会	・ 常会 ・ 敬老会(中止)	・ 常会 ・ 敬老会(中止)
10月	・ 常会 ・ しめ縄作り ・ 地区グラウンドゴルフ大会 ・ 区内清掃	・ 常会 ・ しめ縄作り ・ 結石山清掃 ・ わがまち元気事業・ベンチ製作 ・ 地区グラウンドゴルフ大会	・ 常会 ・ 臨時常会(第2回) ・ しめ縄作り ・ 有害獣対策モデル事業・説明会 ・ 地区グラウンドゴルフ大会 ・ わがまち元気事業・ネット設置 ・ 河内の里通信(2号)発行
11月	・ 常会 ・ 岩楯神社・禮祭 ・ 結石山清掃 ・ 出前市長室開催 ・ 河内の里文化展	・ 常会 ・ 岩楯神社・禮祭 ・ 河内の里文化展	・ 常会 ・ 岩楯神社・禮祭 ・ わがまち元気事業・体験学習 ・ 有害獣対策モデル事業・ゲート設置 ・ 有害獣対策モデル事業・実施 ・ 河内の里通信(3号)発行
12月	・ 常会	・ 常会	・ 常会 ・ 有害獣対策モデル事業・実施 ・ 河内の里文化展 ・ 消火栓の使い方講習 ・ 河内の里通信(4号)発行 ・ 河内の里通信(5号)発行
1月	・ 常会	・ 常会	・ 常会 ・ 有害獣対策モデル事業・実施 ・ 河内の里通信(6号)発行
2月	・ 常会	・ 常会	・ 常会 ・ 有害獣対策モデル事業・実施
3月	・ 常会 ・ 岩楯神社・禮祭	・ 常会 ・ 岩楯神社・禮祭 ・ わがまち元気事業・桜植樹	・ 常会 ・ 岩楯神社・禮祭 ・ 有害獣対策モデル事業・実施

1 真珠養殖(風景)

(株)上村真珠対馬分場(河内30番地)の養殖場がある風景。夏場は海面に整然と並ぶブイが紺碧の海と深緑の山に調和し、美しい景色が広がる。また、養殖場の周囲は、魚影が濃く、タイ、アジ、アオリイカなどの釣りが楽しめる。



2 捕鯨基地跡

昭和27年ごろまで、現在の上村真珠対馬分場所がある場所に、クジラの骨の門をシンボルとした捕鯨基地があり、活気に溢れていた。今は、貯水槽跡のみが当時を偲ばせる。



3 経ノ隈遺跡

河内の北西に、経ノ隈という丘があり、頂上部から、石塚と石棺の残部が発見され、昭和50年5月に発掘調査が行われた。石棺3基、弥生時代後期前半の土器片と韓国近海式土器の断片、鉄剣、ガラス小玉が発掘された。弥生後期の墳墓とも推測されている遺跡。



4 岩楯神社

明治42年、河内字藤内ケ内の大浦湾が一望できる小高い丘の上に河内の荒神、夷、左河内の岩楯、夷三郎の四社を合祀して社殿を建立。祭事は、3月と11月の年2回。



5

ツシマヤマネコ生息地 (フリヤマネコ)

平成21年の大晦日、国の天然記念物ツシマヤマネコが、大浦義光氏の庭先につるしてあった正月用ブリに飛びついてかじったことから、地元ではこのヤマネコを親しみを込めて「フリヤマネコ」と呼んでいる。この珍現象等をきっかけに対馬野生生物保護センターが調査を実施、河内周辺の山で5頭のヤマネコが確認されている。



6

河内橋かわちばし & 浜中はまなか

河内橋は、現在の国道が整備される以前、地域を結ぶ主要道路の一役を担っていた。今では地区内の往来に利用されるとともに、河内の象徴的建造物として区民に愛されている。また、浜中は、アサリ、シジミなどの二枚貝が多く生息し、潮干狩りのシーズンになると多くの人々が賑わう。



7

河内グラウンド (グラウンド、ゲートボール場)

昭和60年ごろまでは、よく整備され、すべり台、ブランコなどの遊具も設置されていた。ソフトボール、テニス等の野外スポーツが盛んに行われていたが、野球場、多目的広場などを有する上対馬総合公園の完成や少子化の影響により、利用者数が年々減少し、現在は、その一部をゲートボール場として活用しているだけで、荒れ地の状態となっている。



8

河内地区集会施設

平成5年3月に河内554番地1の区有地に建築。木造平家建、床面積156.5㎡、収容人員68人、大会議室、調理室、老人室、トイレを有し、月1回の常会、各種会議、イベントに活用される地区の拠点施設である。

また、災害時の避難場所としても指定されている。
【電話番号:386-2870】



9

内方山 うちかたやま

毛利高政が城を築いた山とされていますが、詳細は不明。今後要調査。



10

千人耳塚 せんにもづか

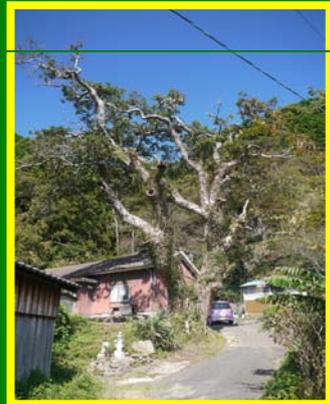
地区の共同墓地近くの竹林の中に千人耳塚(せんにもづか)と呼ばれている石積みの塚が鎮座するが、詳細は不明。今後調査。



11

大タフノ木 おおたふのき

樹高15m、幹回り約6m、樹齢推定300年を数える地区のシンボルツリー。
しかし、平成21年11月に強風により巨大な枝(枝周り最大2.7m)が折れるなど、樹勢がなく立ち枯れの恐れが懸念される。



12

桐木井戸 きりのきいど

この井戸の井側は、万葉の歌人、大伴旅人が、結石山の桐の孫枝で作ったといわれる日本琴の残り材で作ったことから、「桐木井戸」と呼ばれている。



13

対馬四国八十八ヶ所三十九番札所

対馬全島にある対馬四国八十八ヶ所の三十九番札所が旧河内公民館跡地の一角にあり、御堂には薬師如来像が鎮座する。地元では目の健康に御利益があるお地蔵様として、彼岸などにお参りしている。



14

街中（ガーデンストリート）

地区内には、花づくりの愛好者が多く、各家庭では、庭に花を咲かせガーデニングを楽しんでいる。その活動のたまものとして、街中は、四季折々の花が咲き誇り、花と緑の動線、ガーデンストリートが形成されている。



15

元神様（共有地）

元々、岩楯神社として祀られていた神聖な場所。社はなく森の中に盤石があり、神として祭っていた。その後、岩楯神社が現在地（字藤内ケ内）に移転したことから、元神様と呼ばれるようになった。



16

逆様川

河内川の中程に山の形状の影響により、川の流が下流から上流に向かっていくような錯覚を受ける場所があり、その光景から地元では逆様川と呼ばれている。また、この場所のすぐ近くの道路では、以前、交通事故が多く発生していたことから、ガツパ（河童？）伝説が残る。



17

「絶海を渡る」記念碑& 韓国展望

昭和61年6月10日、大河内地区の男達は、先人の足跡に想いを馳せ、七丁櫓地舟(手漕ぎ)で朝鮮海峡横断に挑戦。見事、絶海を渡り歴史を再現した。記念碑は結石山公園に建立されている。(韓国までの距離49.5km、地舟での所要時間9時間5分)



18

結石山

(結石山城跡、結石山森林公園、結石山林道)

標高183m。山頂には、豊臣秀吉によって築かれた山城の跡があり、よく晴れた日には韓国を眺望できる。また、古代から烽(とぶひ)があって、防人が配置されていたともいわれ、万葉集には、結石山の桐で作った琴を詠った句もある。結石山林道、公園は地域住民のウォーキングコースとして、利用されている。



19

小塩屋 (古塩屋)

加藤清正が築いた「肥後殿」の城があると伝えられているが、詳細は不明。今後調査。



1 アンケートタイトル

地域の自己診断アンケート(〇)

2 回収状況

30世帯

3 結果

区 分		○	×	▲	計
項目	質 問 事 項	良好	不良	未回答	回答数
1 防災防犯	1 防災、防犯体制は整っているか。	21	3	6	30
	2 防火水槽又は消火栓等は整っているか。	23	5	2	30
	3 災害時の報知(サイレン等)は整っているか。	22	6	2	30
	4 古井戸、池、用排水路、道路側溝など安全のための設備(柵、蓋、照明、看板など)が設けられているか。	15	12	3	30
	5 夜間、暗い所に防犯灯は設けられているか。	23	6	1	30
	6 雨が降ると水に濡かりやすい住まいはないか。	19	11	0	30
	7 崖崩れや落石の危険にさらされている住まいはないか。	16	14	0	30
	8 災害の危険性がある時、避難する場所はあるか。	18	12	0	30

区		分	○	×	▲	計
項目	質 問 事 項		良好	不良	未回答	回答数
2	道路	9 見通しが悪く危険を感じているところはないか。	18	10	2	30
		10 道幅が狭く、危険を感じているところはないか。	15	14	1	30
		11 車の通行量が早く、かつ歩道がないため、危険を感じているところはないか。	19	11	0	30
		12 カーブミラー、交通標識等は必要に応じて設置されているか。	18	12	0	30
		13 地域内道路で段差があって、高齢者や障害者等に危険と思われるところはないか。	19	10	1	30
3	子どもの遊び場	14 子どもたちが自然とふれあえる場所、あるいは土の上で遊べる場所はあるか。	20	10	0	30
		15 遊び場は、大人の目が届く状態になっているか。	18	8	4	30
		16 遊び場は、子どもが安全に往復できるところにあるか。	17	9	4	30
4	健康生活	17 健康を守るための食生活等についての勉強会を計画的に行っているのか。	3	25	2	30
		18 体力づくりのため、体力測定、スポーツ教室、スポーツ活動などを計画的に行っているか。	4	25	1	30
		19 気軽に楽しめる軽スポーツや確し物などができる広場が近い場所にあるか。	20	9	1	30
		20 健康を守るための「家庭の日」や「農休日」が設けられているか。	3	25	2	30
		21 休養や睡眠を妨げる騒音や振動、悪臭などはないか。	29	1	0	30
5	環境衛生	22 道ばた、河川、山林、空き地などにゴミ、空き缶などが捨てられていないか。	8	17	5	30
		23 ペットの糞などがよく捨てられている道ばた、公園、山林、空き地などはないか。	18	7	5	30
		24 道路、側溝、集会施設、花壇などは、時期を決めて、一斉に清掃作業などが行われているか。	23	1	6	30
		25 生活排水が直接、道路、耕地、用水路、河川、湖沼などに流されている所はないか。	12	12	6	30

区 分		○	×	▲	計	
項目	質 問 事 項	良好	不良	未回答	回答数	
5	環境衛生	26 河川などにゴミなどがたまりやすい所はないか。	10	14	6	30
		27 ゴミの集積所は整備されているか。きれいに管理されているか。	23	2	5	30
		28 雑草が生えているところはないか。	5	19	6	30
		29 汚水、汚物、ばい煙、ガス、粉塵、有害廃棄物など、企業排出物による被害はないか。	22	3	5	30
		30 将来に残しておきたい自然(林野、河川、湖沼、景勝地、珍しい動植物)があるか。	15	7	8	30
		31 地域内美化のため、花づくりや緑化活動などが行われ、整備されているか。	20	4	6	30
6	生活習慣 相互扶助	32 共同給水施設(上水道、簡易水道、小規模水道など)が設けられているか。	19	4	7	30
		33 通勤、通学、買い物などにバス等の便があるか。	21	2	7	30
		# 食料品、雑貨など日常生活に間に合う程度の商店があるか(概ね2~3km以内)	25	0	5	30
		35 病院、医療があるか。(車で10分以内)	25	0	5	30
		36 冠婚葬祭の合理化について、申し合わせがなされているか。	12	10	8	30
		37 日常の付き合いやしきたりの中で、住みにくさについて改善の話し合いや申し合わせがなされているか。	11	11	8	30
7	集会施設	# 会議、料理講習会、保育、読書、娯楽、催し物など、多目的に利用できる施設があるか。(公民館等を含む)	23	2	5	30
		41 簡単な会議や集会など、人々が集まる施設が身近にあるか。	30	0	0	30

区		分	○	×	▲	計	
項目	質 問 事 項		良好	不良	未回答	回答数	
8	娯楽文化	42	みんなで楽しめる祭り、盆踊り、運動会などの行事が、住民の賛同を得て計画されているか。	24	6	0	30
		#	ふるさとの歴史、芸術、芸能、物財などの掘り起し、保存、伝承などが行われているか。	21	6	3	30
		#	新しい文化の創造が行われているか。	13	14	3	30
		45	寺社、名所旧跡、名物名産、人材、物財など、自慢できるものがあるか。	19	10	1	30
		46	名所旧跡、物財などの管理、清掃などが行われているか。	24	5	1	30
9	住民活動 自治活動	47	婦人会、青年組織、子ども会、老人会などがあり、計画的に活動しているか。	22	6	2	30
		#	生産や生活に関する集団や組織があり、計画的に活動しているか。	7	19	4	30
		#	趣味の会、同好会などがあり、計画的に活動しているか。	22	7	1	30
		50	住民への連絡事項は速やかに伝えられているか。	30	0	0	30
		51	自治会の運営が円滑になされているか。	25	2	3	30
		52	役員は適材適所主義により、民主的に選ばれているか。	26	2	2	30
		53	地域の暮らしを高める活動が行われているか。	19	8	3	30
		54	年間予算が編成され、計画的に運営されているか。	23	5	2	30
		55	平素の暮らしで困ったことを、地域で解決する仕組みが作られているか。	11	15	4	30
		56	自治会活動に、子ども、青年、女性、高齢者など、戸主以外の意見が反映できる仕組みになっているか。	11	17	2	30
		57	役員等の世代交代が進んでいるか。	22	4	4	30
58	単なる要望団体ではなく、地域のことは地域で解決するという基本的姿勢は浸透しているか。	24	3	3	30		
59	他の地域や組織等と共同した活動を行ったり、話し合う仕組みができているか。	18	9	3	30		

1 アンケートタイトル

(^v^) 河内区民・全員アンケート!!

2 回収状況

■ 性別

(単位:人)

区	分	人数
男性(男の子)		19
女性(女の子)		15
不明		1
計		35

■ 年齢別

(単位:人)

区	分	人数
15歳以下		4
16歳 ~ 30歳		3
31歳 ~ 50歳		5
51歳 ~ 70歳		16
71歳以上		5
不明		2
計		35

3 結果

問1 河内で一番好きな場所は？

1位 結石山 (18票)

《主な理由》

- ・ 晴れた日に見える韓国の夜景
 - ・ 結石山展望所からの朝鮮海峡
 - ・ 走りの練習ができる坂
- など

2位 街中(地区内) (5票)

《主な理由》

- ・ 春になると花いっぱい咲き誇る各家庭の庭や山
 - ・ 春には河内区内が花でいっぱいになるところ
 - ・ 河内の川と小屋のある風景
- など

2位 海 (5票)

《主な理由》

- ・ きれいな海

《4位以下》

河内橋、浜、川、ゲートボール場

問2 河内で一番の宝物は？

1位 人の絆・団結力 (5票)

《主な理由》

- ・ 支え合い助け合って物事をみんなの力で行うこと
 - ・ 河内を知り尽くしている高齢者
 - ・ 区民の団結力
- など

1位 結石山 (5票)

《主な理由》

- ・ 結石山からの景色
- ・ 結石山城跡

1位 海 (5票)

《主な理由》

- ・ 青い海

《4位以下》

浜中、岩楯神社、常会、河内橋、蜂筒、店舗、タブの巨木

**問3
実施してみたいイベントは？**

1位 グラウンドゴルフ (4票)

《主な理由》

- ・年に2回実施してほしい

2位 ウォーキング (3票)

《主な理由》

- ・一週間に3回、希望者でウォーキング

2位 さつき展・文化展 (3票)

《主な理由》

- ・大変だと思いますが、できたらできる人達で区として取り組んだら、いいのでは。
- ・さつき展、文化展は続けてほしい。

《4位以下》

清掃活動、EM等の活用、マラソン大会、食品づくり、ミニバレー、グラウンド活用、地区全員イベント、トレッキング、高齢者の語りべ、豊かな海づくり、パソコン教室、竹カゴづくり、木工作業、オープンガーデン

**問4
河内で困っていることは？**

1位 シカ、イノシシ被害 (13票)

《主な理由》

- ・シカ、イノシシから野菜、花などを食べられてしまう
- ・柵だらけで河内の景観が壊れています
- ・夜に地区の中を歩くのも怖い など

2位 グラウンド(遊び場) (6票)

《主な理由》

- ・グラウンドを整備してほしい
- ・ほとんど使用していないので、地主に返還できないか
- ・ブランコがほしい など

3位 道路 (4票)

《主な理由》

- ・狭い道に車を止めての農作業
- ・区内は40km以下での走行規制があればと思う
- ・国道に出る時に雑草での視界不良 など

《4位以下》

漂着ゴミ、環境、若年層の減少

**問5
河内で危険な場所は？**

1位 国道 (5票)

《主な理由》

- ・歩道が絶対必要
- ・国道に一部歩道がなく危険
- ・交通量が多い など

1位 村岡自動車付近の十字路 (5票)

《主な理由》

- ・格納庫横の細い道から国道へ出るとき、右側から来る車輛が見えない。
- ・佐須奈方向から来る車が見えにくい など

3位 海 (4票)

《主な理由》

記入なし

《4位以下》

河内橋の道路、結石山林道、大浦義光氏横の三叉路、旧俵食品跡地、サイノ山線下り、側溝、川、土砂崩れ

**問6
暮らしの中で必要なことは？**

1位 グラウンドの整備 (5票)

《主な理由》

- ・グラウンドでもう少し遊べる場所があったらいいと思う。
- ・子どもが遊べる場所 など

2位 店舗等の充実 (3票)

《主な理由》

- ・作った野菜を安全・安心で安く提供できる施設。
- ・コンビニ！ など

3位 清掃活動 (2票)

《主な理由》

- ・区で手もっこ、竹ぼうき、安いものなら5本ぐらい買い、倉庫に保管してほしい
- ・秋にもう一度半日、区のクリーンアップ日を！

《4位以下》

公民館の整備(舗装等)、若年層の確保、道路環境の整備、遊休農地の解消、迷惑駐車、高齢者のサポート、エコ活動、磯遊び

問7 暮らしのルールについて？

1位 定期的な清掃活動 (7票)

《主な理由》

- ・ 川の中も河内の里、気づいたらゴミを拾いましょう！
- ・ 公民館の大掃除
- ・ グラウンドの草取り など

2位 住みよい生活環境 (4票)

《主な理由》

- ・ 区民葬は続けてほしい
- ・ 高齢者宅への訪問
- ・ 家庭のゴミは焼かない など

3位 生活のルールづくり (2票)

《主な理由》

- ・ 区内での祝儀等の統一
- ・ お見舞いなどのお返しをしないように

《4位以下》

高齢者のサポート、気持ちの良い挨拶

問8 未来のイメージ！

1位 明るく笑顔があるまち (6票)

《主な理由》

- ・ 楽しく夢のある地区
- ・ みんな仲の良い地区
- ・ 笑顔で住みやすい地区 など

1位 地域コミュニティが充実したまち (6票)

《主な理由》

- ・ 全員が積極的に協力し合う地区
- ・ 「一笑賢明」精神で！
- ・ 公民館を利用した手づくりの「道の駅」 など

3位 自然豊かなまち (5票)

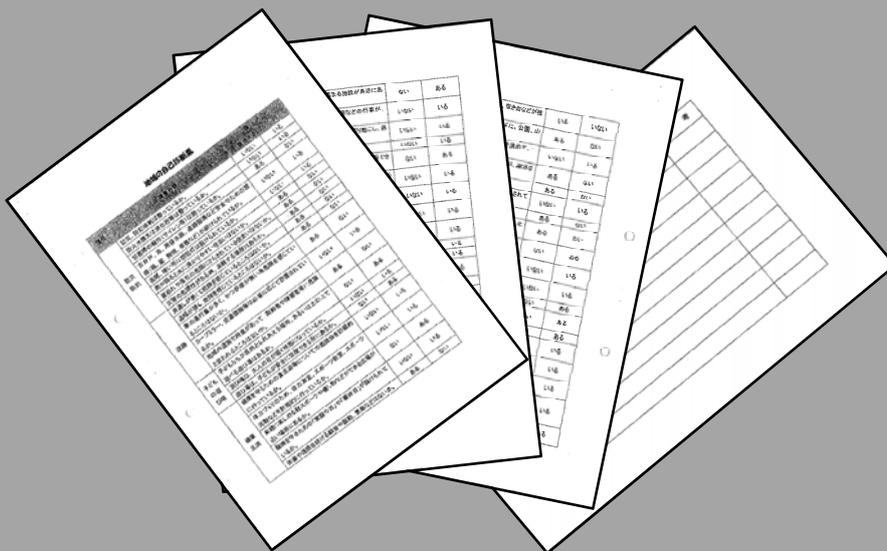
《主な理由》

- ・ 豊かな自然と共生する地区
- ・ 子供達が川で遊び、浜で泳げるように！
- ・ 花がいっぱいの河内地区 など

《4位以下》

伝統が継承されるまち、未来志向のまち

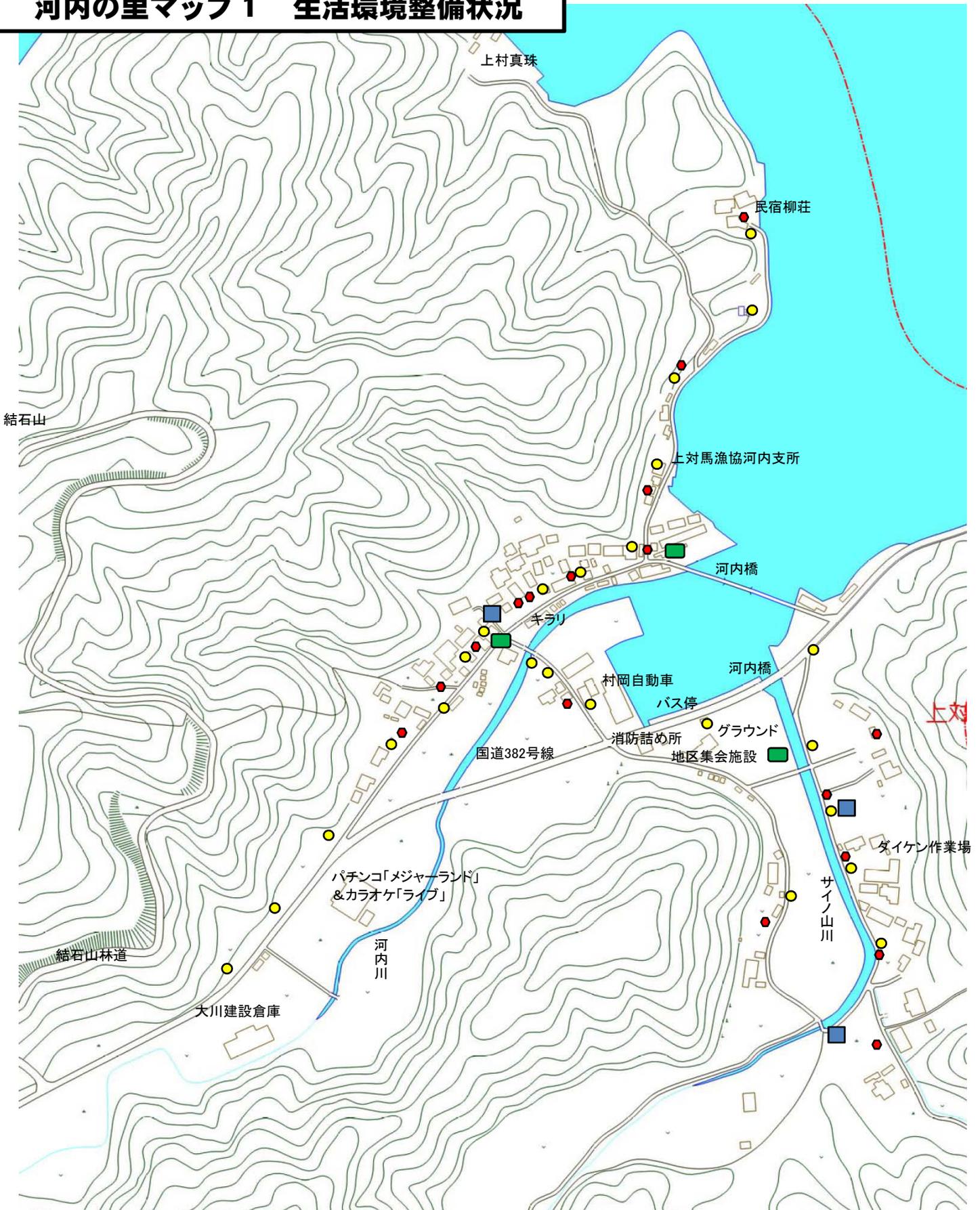
■ 実施したアンケート用紙



↑ 地域の自己診断アンケート

河内区民全員アンケート↓

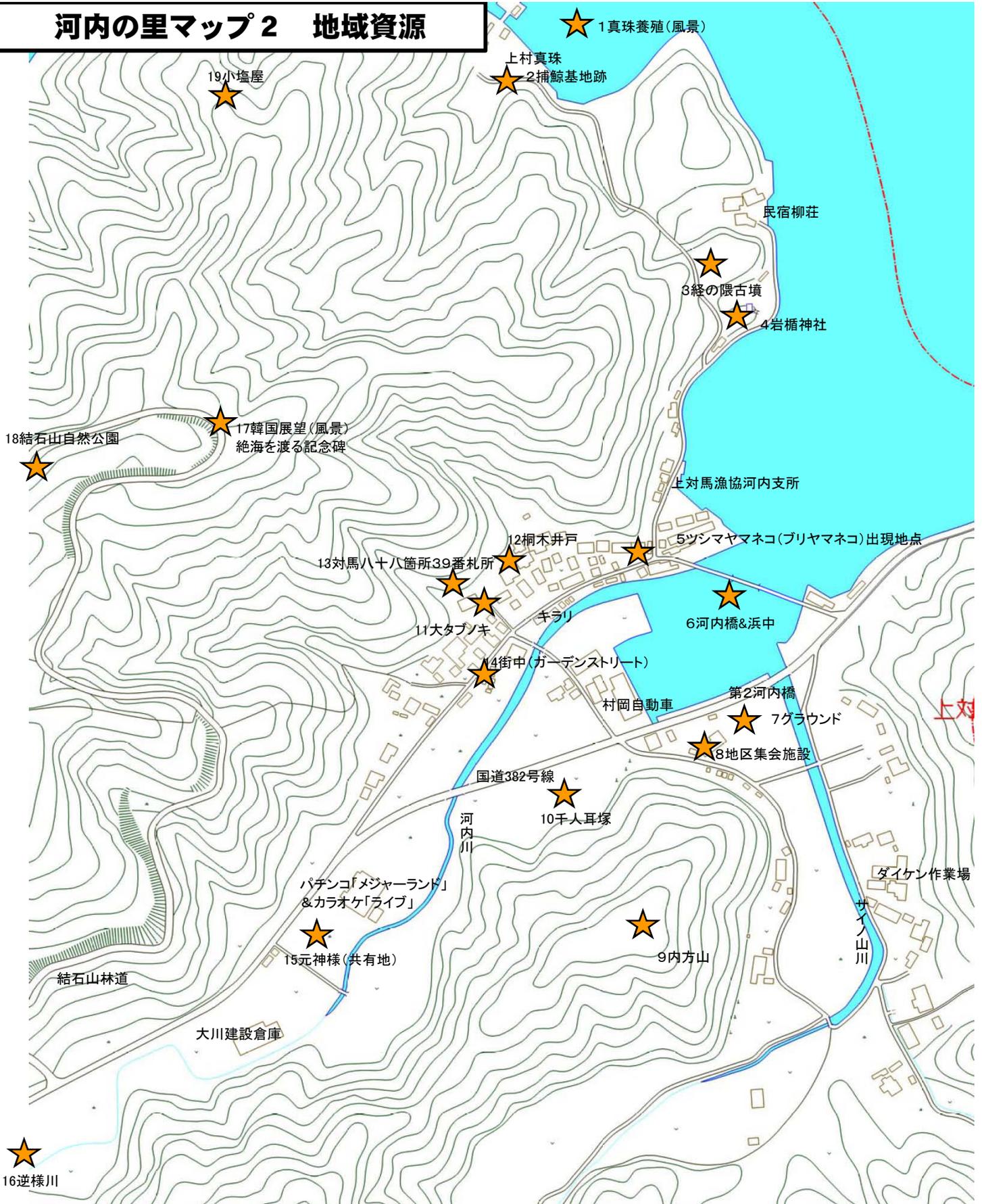
河内の里マップ^① 生活環境整備状況



凡例	① 防犯灯	●	③ 防火水槽	■
	② ゴミ箱	■	④ 消火栓	◆

縮尺 1 / 4,000

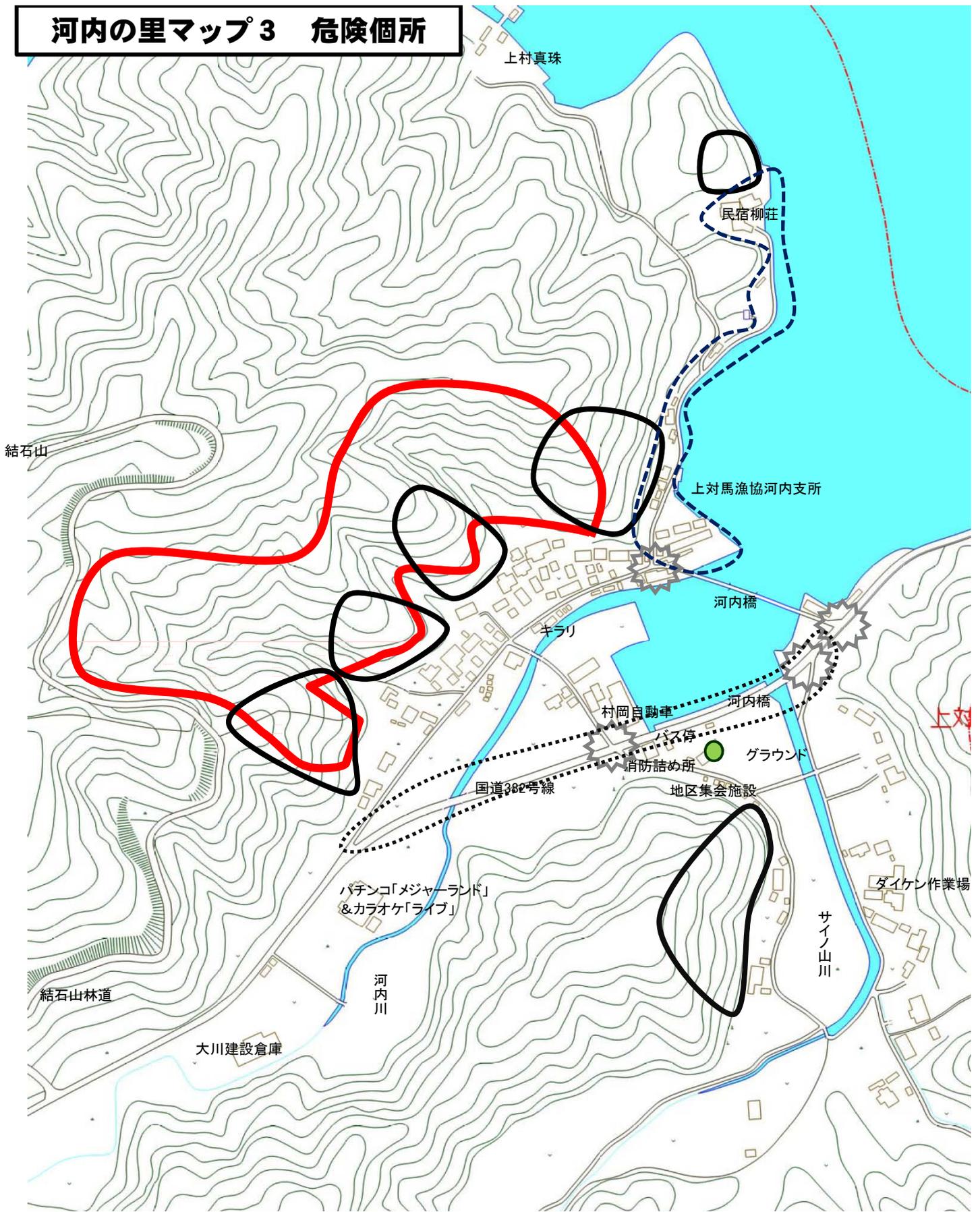
河内の里マップ2 地域資源



凡例	地域資源	★
----	------	---

縮尺 1 / 4,000

河内の里マップ3 危険箇所

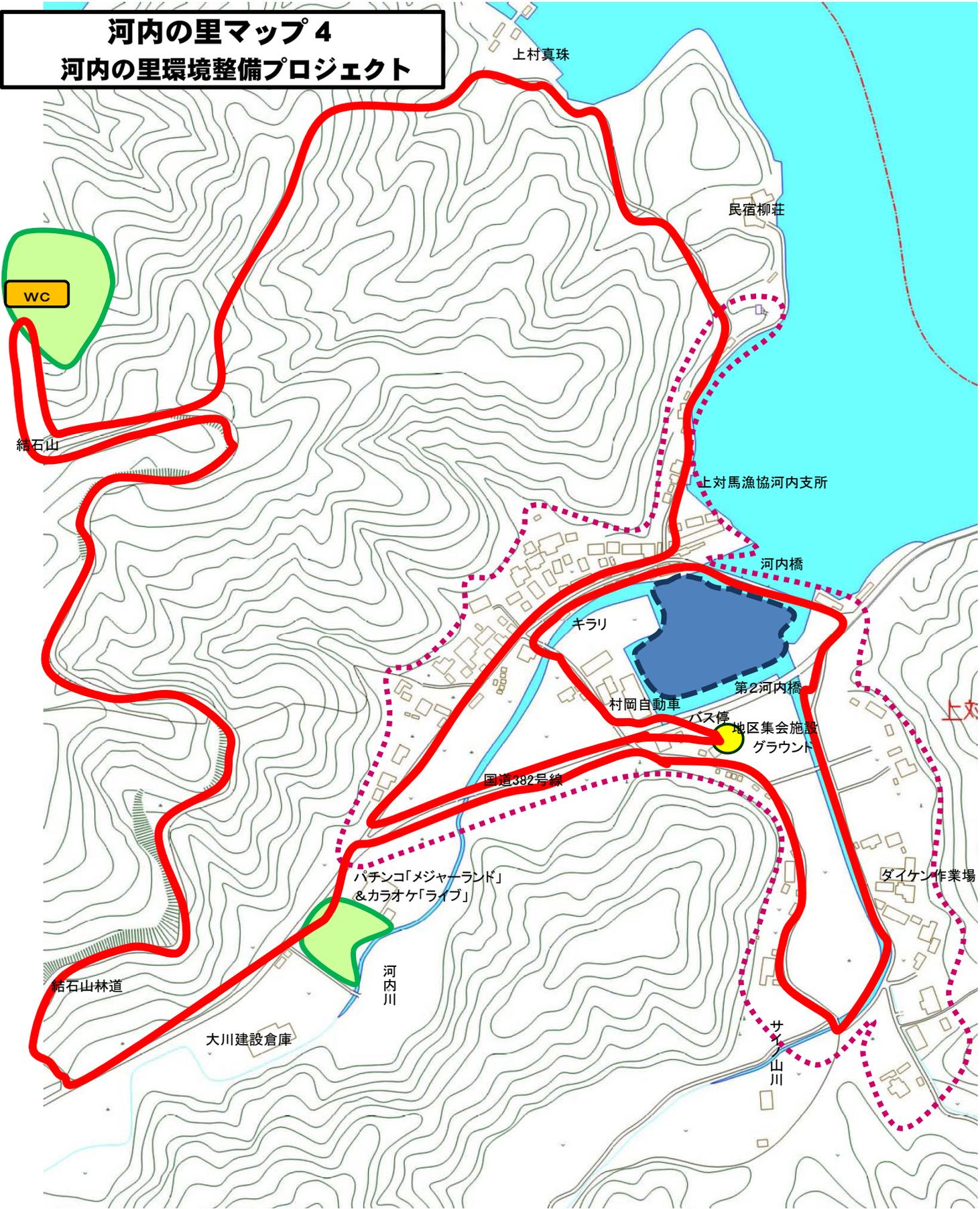


凡例	①避難場所		④床下・床上浸水危険箇所	
	②急傾斜地崩壊危険箇所		⑤交差点危険箇所	
	③山腹崩壊危険箇所		⑥歩道未設置区間	

縮尺 1 / 4,000

河内の里マップ 4

河内の里環境整備プロジェクト



凡例	①ウォーク&トレックコース		④公衆トイレ	
	②道の駅		⑤潮干狩りポイント	
	③自然公園		⑥ガーデンストリート	

縮尺 1 / 4,000